

**5/19 子どもたちの安全のために
町内全小・中学生に布製マスクを配布**

町は、新型コロナウイルス感染症の対策の一つとして、花菱縫製株式会社にご協力をいただき、町内すべての小・中学生に布製マスクを配布しました。

学校生活を送る上で、マスクは感染予防のための必需品となっていますが、子ども用のマスクは未だ入手困難な状況が続いており、子どもたちが安心して学校生活を送れるようにと、町内すべての小・中学生を対象に行った取り組みです。この日は、荒砥小学校で担任の先生より児童たちにマスクが手渡され、受け取った児童は、「息がしやすく、とても使いやすい」と話し、さっそくマスクを着用していました。

担任の先生より配布されました▶
さっそくマスクを着用してくれた児童▼



**5/25 おいしいお米ができるといいな！
東根・蚕桑小学校で田植え体験**

東根小学校では、5年生の児童たちが小山沢地区中山間地域づくり推進協議会の方々にご指導をいただきながら、米づくり体験を行っています。

この日は、田植えを行いました。はじめて田植えをするという児童も多く、田んぼに入ると泥を踏む感触にとっても驚いていました。泥と格闘すること約1時間、ようやく田植え作業が終了。学校が再開し、久しぶりに再会した友達と行った野外活動がとても楽しかったようです。

また、6月1日には、蚕桑小学校でも田植えが行われ、泥を全身に浴びながら、五感を使って生き活きと楽しんでいました。



▲植え方を教えてもらい、さっそく挑戦
◀慣れてくるとますます楽しくなりました

**5/26 我がまちが誇る紅花を学び、育てる
荒砥小学校で紅花栽培学習**

荒砥小学校の3年生は、総合学習で紅花栽培に取り組んでいます。この日は、紅の花を咲かせる会の今野正明事務局長を講師にお招きし、紅花についての学習を行いました。

紅花のルーツや紅花の使われ方を学んだ児童たちからは、「黄色の色素は花のどの部分から出るんですか？」「花の下の膨らんでいる部分には何が入っていますか？」など、さまざまな質問があがり、とても興味を抱いている様子でした。

紅花について学んだ後は、グラウンドにある畑で紅花の種撒きを体験。「立派な花が咲きますように」と願いを込め、優しく土をかけました。



◀「大きなあれ」と願いを込めて
▼紅花についてしっかり学びました



TOPICS

トピックス

&

まちのホットな話題
をお届けします！

スポーツ

SPORTS

5/13 買い物環境の充実と地域の交流の場に 鮎貝地区地域交流商業施設がオープン

地域の皆さまからの要望を受け整備を進めてきた、地域交流商業施設が鮎貝地区四季の郷にオープンしました。

この施設には、ファミリーマートが入居し、通常のコンビニ商品のほか野菜、果物、肉、魚類などの生鮮食品も取り揃えられています。また、地域の交流の場となるようイートインスペースが46席設けられ、通路も通常のコンビニよりも広がっていることが特徴です。

オープン当日は、町議会議員や鮎貝区関係者、施設整備関係者などが集まり、安全祈願祭と竣工式が行われました。



▲オープンセレモニーの様子
◀生鮮食品も充実！

5/14 地元の高齢者をコロナから守る 荒砥地区で布製マスクを製作・配布

荒砥地区では、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、高齢者に安全に外出していただくために手作りの布製マスクを無料で配布する取り組みが行われています。

地域のために今こそ力を合わせるべきと、荒砥地区総務企画部と町内の婦人会が呼びかけを行い、集まった30人以上のボランティアの皆さんがマスクを製作しています。当初は荒砥地区にお住まいの70歳以上の方限定で配布を予定しておりましたが、予想を大幅に超える数量を製作できましたので、荒砥地区にお住まいのすべての方を対象に配布できることとなりました。ご希望の方は荒砥地区コミュニティセンター（☎85-0260）までご連絡ください。

「made in Arato」のマスク！▶
ひとつひとつ手作りで作成中▼

